

CommonMP 要素モデルライブラリの公開



河川研究部 気候変動研究チーム 主任研究官 菊森 佳幹 流域管理研究官 吉谷 純一

(キーワード) 水理水文解析、要素モデル、コンソーシアム

1. はじめに

河川研究部は、平成22年3月よりCommonMP(Common Modeling Platform for water-material circulation analysis)をウェブサイト¹⁾上で公開している。CommonMPとは、パーソナル・コンピュータ上で河川流域の水・物資循環を解析するため複数の水理水文解析モデル(河道や流出モデル等、以下「要素モデル」と呼ぶ)を連結して稼働させることのできる解析モデルのプラットフォームである。このほど、誰もが要素モデルを登録・利用できる「要素モデルライブラリ」の運用を開始したので、報告する。

2. 要素モデルライブラリの運用

初版のプラットフォームは平成22年3月にリリースされたものの、要素モデルの種類が足りず、CommonMPの活用は限られたものであった。本要素モデルライブラリは、CommonMP及び要素モデルの普及拡大を目的として、CommonMPの開発主体である国総研がユーザが少しでも多くの要素モデルを使えるようにするために、整備することとしたものである。

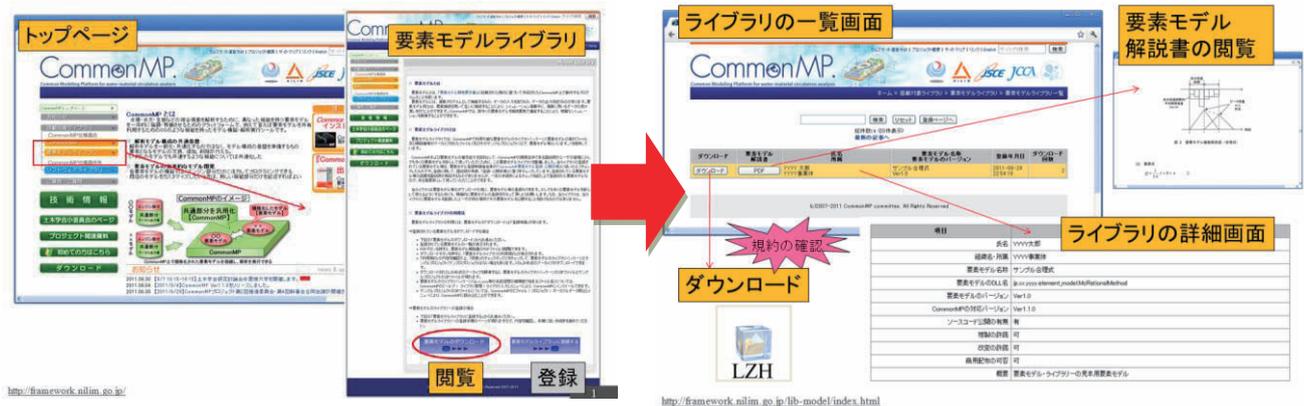
当ライブラリに登録されている要素モデルは、要素モデル登録申請者自身がCommonMP要素モデル登録・公開手順に従いセルフチェックしたものであり、当該要素モデルの利用許諾条件の範囲内で自由に使うことができる。また、ユーザ自身が開発した要素モデルを本ライブラリに登録することもできる。

3. 今後の取り組み

要素モデルの登録手法は、要素モデル開発者自身が行うセルフチェック方式を採用した。登録のためのチェック方式については、客観性を確保するためにも認証機関によるものが適当であるとの議論が、CommonMP開発・運営コンソーシアム²⁾の中でも行われていた。今後は、要素モデルライブラリへの登録を促進させるとともに、認証機関による認証について、具体化を進める予定である。

参考

- 1) <http://framework.nilim.go.jp>
- 2) <http://framework.nilim.go.jp//news-link/090807.html>



要素モデルライブラリ